

6月号 公務一労働者の頑張りとの国の責任放棄

読み合わせ学習会をしましょう！

安倍政権の公務破壊に対する憲法からの反撃(二宮厚美)

安上がり一辺倒の効率主義では、公共的性格は犠牲にされる
公務労働の専門性を守ろう

組合があるとこれだけちがう!?(香川・川産労組 安部浩志)

新連載 憲法・安保総学習講座—STOP!海外で戦争する国づくり(全教・長尾ゆり)

全国学習交流集会in千葉 10/11～13

ひきよせよう 憲法かがやく社会 ひろげよう 学びの仲間

学習の友とわたし

鶴見 伸之

集団的自衛権の容認に向けて、安倍総理は、パネルを使い、大切な家族を守るために必要だと強調しました。しかし、その言葉の裏にある「自分や自分の家族以外の誰かに、この国を守るために、命をかけて戦争をせよ」とは決して言いませんでした。太平洋戦争の時、多くの若者が、自分の子供を親を兄弟を守るために戦地に行き、尊い命を犠牲にしたことと、どこが違うのか。相手の国からすれば、自衛隊が武力行使することは戦争以外の何物でもありません。

日々繰り返される様々な報道によって、危機感を煽られ、軍事力が必要だと思込まされている人たちが、集団的自衛権の行使に賛成していますが、「自分の子供や家族が、戦争に行くことになる」とは思っていないのでしょうか。どこかに自分や家族とは関係の無い自衛隊がいて、戦争に行くと思っています。

何でも日本が悪いという某国を見苦しいと思いながら、「生活が苦しいのは高齢者の年金が多すぎるからだ」「正社員になれないのは努力が足りないからだ」などと思われている国民が多くいるのは、責任転嫁する為政者にまんまと乗せられているのだと思います。

商業マスコミはスポンサーの顔色をみて番組を制作していますし、NHKもあの会長のもと、国民に真実を知らせる役割をとっくに放棄しています。相手のやり口がどんどん巧妙になっていく中で、私たちは、騙されないようにしなければなりません。真実を知って、それを大きく広げていくことこそ大切な家族を守ることだと思います。学習の友はそのためには必読の本だと思っています。

あしたの風では「学習の友と私」を掲載いたします。学習の友を購読していただいている方々に、学習の友との関わりをお聞きします。これから原稿依頼がありましたら、どうぞよろしくお願いたします。

学習の友 6月号学習会

◎日時 6月17日(火)18時30分より

◎場所 学習協事務所にて

※ぜひ、多数のご参加をお待ちしています。

